

フタモンアシナガバチ

体長は 14mm～18mm 程度です。名前の由来は、お腹に黄色の 2 つの模様があることです。

草地や畑の近くの人家周辺で見られます。本種は、環境がかく乱され新しくなると見られなくなります。3月下旬ころから、軒下（のきした）や木の枝の下などに巣を作ります。

攻撃性はアシナガバチの中ではあまり強くなく、大きくなった巣を刺激したり、直接本種を持つなどしなければ、刺されることはありません。

富士市での現状

林や巣地周辺で確認しました。

以前は普通に良く見られましたが、今回の調査ではあまり見られなくなっていました。



フタモンアシナガバチを確認したメッシュ

